

目 次

はじめに	1
第1章 環境研究・環境技術開発の性格及び方向性	2
1．持続可能な社会、自然と共生する社会と環境研究・環境技術開発	2
2．環境研究・環境技術開発が答えなくてはならない「問い」	3
3．国民に対する説明と国民の理解の獲得	3
4．体系的・総合的視点	3
5．重点化	4
6．各主体間の連携・交流	4
7．国際貢献・国際交流	5
8．環境産業・雇用の創出	5
9．目的、性格に応じた配慮事項	5
第2章 環境研究・環境技術開発に係る体制整備	8
1．情報基盤の整備	8
2．研究開発の評価	9
3．環境技術の評価等	10
4．地域における研究開発の推進	10
5．研究資金の拡充と適切な配分	11
6．人材の確保・組織の整備	12
7．成果の普及・環境政策への反映	12
8．環境研究・環境技術開発の全般的な推進に関する検討	13
第3章 重点化プログラム	14
1．総合科学技術会議が策定する環境分野の推進戦略	14
2．重点化プログラムの選定、「問い」の設定	14
3．配慮事項	15
4．各重点化プログラムの概要	15
4 - 1．地球温暖化研究プログラム	17
4 - 2 - 1．化学物質環境リスク評価・管理プログラム	19
4 - 2 - 2．20世紀の環境上の負の遺産の解消プログラム	21
4 - 3 - 1．循環型社会の創造プログラム	22
4 - 3 - 2．循環型社会を支える技術の開発プログラム	23
4 - 4．自然共生型流域圏・都市再生プログラム	24
5．各重点化プログラムの枠組（図）	27
おわりに	34
参考	35